

広報



あ 海 ま 土

平成19年

9
No.408

◆編集発行 島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2-01111
◆印 刷 信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール:info@town.ama.shimane.jp



町の人口世帯数

総人口	2,451人	(+7)
男	1,159人	(+4)
女	1,292人	(+3)
世帯数	1,100世帯	(+3)
住民基本台帳(8月末現在)		
()内は6月末との比較		

* * * * キンニヤモニヤで暑く燃える夏！ * * * *

第12回キンニヤモニヤ祭りがキンニヤモニヤセンター周辺でおこなわれました。地域芸能交流会やパレードに町内外から45団体（うち島外から500名が参加）総勢1200名が参加し、年々海士町ファンが着実に増えていることが伺えます。夕方6時からは菱浦湾（鏡ヶ浦）にしゃもじの音が鳴り響きわたりエネルギーッシュな踊りを繰り広げました。また、この日、農林水産省井出官房長も激励に訪れ祭りを盛り上げていただきました。そして祭りのラストは水中花火大会が行われ2300発の花火が打ち上げられ去りゆく夏の思い出となりました。（関連記事 P6掲載）

主な内容

- 地域物産販売提供施設竣工式他… 2～3
- まちの話題… 4～9
- 議会だより… 10～13
- 教育だより… 14～15
- P J 関連事業… 16～20
- 隠岐島前高校だより… 21
- お知らせ… 22～23
- 戸籍の窓… 24

地域産物販売提供施設竣工式

～地域づくり・海士の心を伝える～
交流の核施設誕生～



7月28日、キンニヤモニヤセンター前に地域産物販売提供施設が完成しました。この施設は、海士町が目指す『島まるごとブランド化』の一環として特に食の分野で「人、モノ、情報」の集中化を図り、地域資源の魅力、人の魅力、もてなしの魅力を相乘的に展開し、かつ交流人口の創出を目指すことを基本として整備されたもので、総工費1億円（内国費5千万円）木造平屋建、床面積289・5m²を有しています。

式典には、島根県農林水産部長小林淳一様をはじめ東京食肉市場（株）取締役社長寺内正光様、（株）イヌイ代表取締役犬井義雄様、地元関係者等40名余りが出席しました。

山内町長から「今後キンニヤモニヤセンターが一体かつ連携して、島育ちの『海士ブランド』の品々を提供し、訪れる方に堪能いただきたい。また、周辺施設等とのコラボレーションで、よりきめ細やかなもてなしができるよう有効に利用をしてほしい」と述べました。

この地域産物販売提供施設と昨年オープンした体验交流施設が今後さらに交流の核施設となり、人が行き交い訪れた人と地元住民の皆様との出会いの場となり、そこには『海士の心、温かさ』をきっと感じていただくことができると思います。

海士町まるごとブランド化に住民の皆さんのお一層のご支援とご協力をお願いします。



7月28日、キンニヤモニヤ

この施設は、指定管理者となつた（有）隠岐潮風ファームが管理運営を行いますが、

安全安心な島の美味しさを快適なサービスで提供いた

だけるよう期待するところです。8月6日には『島生まれ島育ち隠岐牛店』がオープンとなり住民の皆様や訪れた方々で連日大変好評のよ

うです。また、店内一画には食肉販売コーナーも設けられておりいつでも購入可能となりました。

この地域産物販売提供施設と昨年オープンした体验交流施設が今後さらに交流の核施設となり、人が行き交い訪れた人と地元住民の皆様との出会いの場となり、そこには『海士の心、温かさ』をきっと感じていただくことができると思います。

◆戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日において、公務扶助料や遺族年金等を受ける方がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

1、弔慰金の受給権者
2、戦没者等の子

3、①父母 ②孫 ③祖父母
④兄弟姉妹

（戦没者等と生計関係を有していないなかつた等は除かれます。）
4、右記3以外の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

（戦没者等の死亡時まで引き続いた方におられます。）

◆支給内容：額面40万円、10年償還の記名国債
◆請求期限：平成20年3月31日

戦没者等のご遺族の皆様へ

◆第8回特別弔慰金の請求はお済みですか？

（対象者）

日本赤十字社より

社業功労者特別表彰

(地区分区功労)受賞



溝口支部長(県知事)から表彰を受ける山内分区長(町長)



役職功労者と地区分区功労団体の方々と共に

この度、日本赤十字社より社業功労者特別表彰「地区分区功労」を受賞しました。

この特別表彰は、日本赤十字社が創設130周年を迎えた節

目にあたり赤十字事業に功績のあつた者に表彰感謝の意を表すものです。

海士町分区が受賞した「地区分区功労」は、毎年5月に集めている社資(1口700円)の募集実績が着実に伸張し、島根県支部における社資募集活動に特に顕著な功労が認められ、かつ、当該区域内

において赤十字活動を積極的に取り組んだことが今回の表彰に至りました。

伝達式には、山内分区長(町長)が出席し、溝口支部長(県知事)より伝達が行われました。

これもひとえに社員である町民の皆様のご理解の賜だと感謝しております。

どうか今後ともご理解、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

日赤海士町分区

地域中小企業サポーターに委嘱される

(株)ふるさと海士 取締役社長 山内 道雄



フレーズに、「若者」「馬鹿者」「よそ者」の連合体で地域活性化を進めているところです。

この度、中小企業の地域資源を活用した事業展開の支援に関する関係省連絡会議の推薦により、経済産業大臣および農林水産大臣から「地域中小企業サポーター」に委嘱されました。

8月21日には委嘱交付式が霞ヶ関東京会館において行われ、甘利 明経済産業大臣より委嘱状を受け取りました。

なお、委嘱期間は平成19年8月21日から平成20年8月31日までです。今後も地

域資源を最大限に活用した取り組みを積極的に展開致します。

取締役社長の提言

無限のエネルギーを秘めている地域の宝をみんなで形にしていくプロセスが極めて大事。その原点は、決してあきらめない信念と行動、そして郷土愛だと思っています。本町では、「離島のハンドメイドアドバンティージにかえて!」をキヤツチ

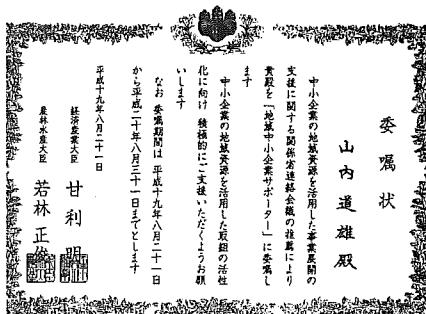
未来に繋ぐ 善意の心

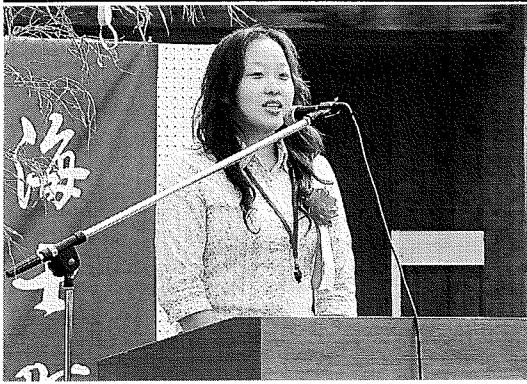
この度、海士町崎の門山常三郎さん(91歳)より海士町の産業振興や定住促進、そして子ども達のために役立てほしいとの趣旨によりご寄付をいただきました。

この善意なお気持ちを今後海士町の活性化のために

有意義に活用させていただきたいと思います。紙上より厚くお礼申し上げます。

門山さんは、山内町長が6月19日にNHK出版より発売された「離島発生き残るために10の戦略」を読まれ、「海士町の取り組みに非常に感銘した。今後も頑張ってほしい。」とのコメントをいただきました。





最優秀賞に輝いたイン シンビさん（韓国出身）

島根県内在住の外国人「2007年島根県在住外国人による日本語スピーチコンテスト」が7月7日海士町で行われました。

このコンテストは今年初めの開催でしまね国際センターや本町の研修生（交流促進課）のサミーラ・グナワラ・デナ氏（スリランカ出身）を中心とする実行委員会により、国際交流を考える機会にと

日本語スピーチコンテストin AMA

～島から発信～『私たちにできる国際化』



島根県内在住の外国人「2007年島根県在住外国人による日本語スピーチコンテスト」が7月7日海士町で行われました。

このコンテストは今年初めの開催でしまね国際センターや本町の研修生（交流促進課）のサミーラ・グナワラ・デナ氏（スリランカ出身）を

また、準優勝に輝いた日本人男性と結婚し出雲市に住む奥村輝さん（中国吉林省出身）は、「島根に住んで感じたこと」と題し、出雲弁『ちよんぼしちょううだい』のエピソードをされました。残された滞在期間が迫つてくるのは非常に残念だと話しておられました。

うことで開催されたものです。当団は、天候も良くキンニヤモニヤセントー船小屋前に100名余りの来場者が見守る中『島根に住んで感じたこと』をテーマに5カ国9名の方々が登壇されました。中には国際色豊かな民族衣装を身に付け、流ちょうな日本語で堂々と発表したのが印象的でした。

今回、優勝した松江市在住のイン・シンビさん（韓国出身）は韓国・釜山教育大学から島根大学へ交換留学生として1年間の滞在で、現在8ヶ月を経過したところです。イン・シンビさんは、「日本語が大好きで、島根の景観や人情溢れるエピソード」などを交えたスピーチをされました。残された滞在期間が迫つてくるのは非常に残念だと話しておられました。

また、準優勝に輝いた日本人男性と結婚し出雲市に住む奥村輝さん（中国吉林省出身）は、「島根に住んで感じたこと」と題し、出雲弁『ちよんぼしちょううだい』のエピソードをユーモアたっぷりに話され、今では『出雲弁がちよん



スピーチを聞き入る小中学生



島前高校2年 石田明日美さん



海士中2年 田口 淳くん



海士小6年 竹谷 波さん

ぼし理解できる』と発表し、訪れた人々の笑いをとるほどでした。また、第2部では、日頃、外国人と接する機会の少ない地元、小中高校生たちが国際交流活動をする中から『私たちにできる国際化』をテーマにエッセイ発表がありました。この日は七夕でもあります。町内の保育園児たちが書いた願いごとや会場に訪れた方々も短冊に願いをこめ装飾するなど星に願いを込めました。子ども達にとっても、外国人と触れることで国際感覚を意識し視野が広がることを今後期待するところです。



新成人を代表して謝辞を述べる銭谷美里さん

真夏の成人式として恒例となつた8月15日、海士町成人式が隠岐開発総合センターでおこなわれました。今年成人式を迎えた該当者40名の内28名（町内在住者1名）が出席しました。隠岐神社で奉告祈願祭と記念撮影をおこなつたあと、隠岐開発総合センターで式典が行われました。新成人を代表して月坂昇平さんか



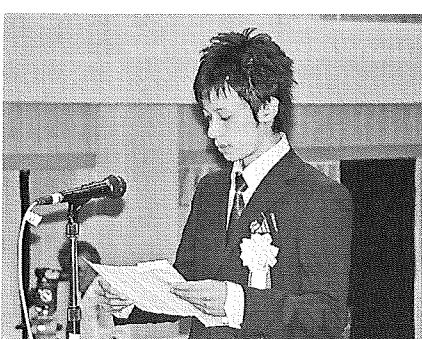
真夏の成人式 ふるさとで誓う28名

また、今、話題の教育コーディネーターとして活躍されている岩本悠さんから『世界から海士』と題して大学時代世界各国をまわり開発援助活動を通しての体験記や海士の魅力についてご講演をいただききました。将来に夢と希望を託された新成人の皆さんがあれぞれの目標に向かつて大きく飛躍してくれることを願っています。

らは、「今日からは一人前の社会人として責任ある生き方をしていかなければ」と誓いの言葉や、また、銭谷美里さんは、感謝の気持ちを込めて「これからは責任をもつて行動し、夢に向かつて志を新たにし、若い力で一生懸命頑張っていきたい」と謝辞がありました。そして第2部となる新成人へのメッセージでは、海士中学校2年生が『ふるさと再発見』と題して海士町の歴史、産業、文化についてプレゼンテーションを行い、まちの魅力や誇りに思うことなど力強い発表がありました。



新成人に向けて本町の歴史、文化、産業についてプレゼンテーションする海士中2年生



誓いの言葉を述べる月坂昇平さん



隠岐神社にて奉告祈願祭

7月1日から1ヶ月間、全国で「第57回社会を明るくする運動」が展開されました。海士町更生保護女性の会では、この運動の一環として「愛の図書寄贈運動」を行いました。

その趣旨にご賛同下さった多くの方々から、左記のように多額の募金が集まりました。

ここにご報告に合わせ改めて厚くお礼申し上げます。

更生保護女性の会から …募金のお礼…

募金総額	502,125円
支出額	
・県更生保護女性連盟へ	170,000円
・町内保育園小中学校へ	
(3校へ寄贈)	
240,000円	
・県更生保護協会へ	20,000円
・更生保護女性の会活動費	72,125円

第12回 海士町キンニャモニャ祭り

海士の祭りだよ 皆さうしゃりやあ
海士から世界に広がるキンニャモニャ



タイの民族衣装を付けて郷土芸能を披露する留学生たち
笑顔で踊る姿に感銘、観客を魅了しました。



激励に駆けつけた農林水産省井出官房長様

第12回海士町キンニャモニャ祭りが8月25日に菱浦港「承久海道」キンニャモニャセンター周辺を会場に行われました。

当団は、炎天下の中たくさんの方々が立ち並んだり、特設ステージで地域芸能交流が行われるなど、人の行き交う賑やかな祭りとなりました。

この地域芸能交流には、全国から12団体と、そして、新宿日本語学校の留学生(タイ)12名も参加し、民族衣装を身にまとい国際色溢れる踊りが披露されました。この日は、気温30度を超す暑さにもかかわらず、演じる人、スタッフの人、出店のボランティアの方々等、皆、額に汗しながら祭りを盛り上げました。

また、この祭りに遠方にもかかわらず毎年リピーターとして参加されている方や団体を募つて参加されている方々6名にキンニャモニャ祭り実行委員会より、その『熱意』に感謝状と記念品が贈られました。そして、夕方6時からは祭りのハイライト「キンニャモニャパレード」が始まり、町内の自治会や職場グループおよび全国から45団体、また、総勢1200人が趣向を凝らした衣装で参加。海岸一帯しゃもじの音が響きわたりました。

この後、2300発の花火大会が行われ去りゆく夏の夜空を楽しみました。



1時間の生演奏。地方の皆さん本当に疲れました！



今年は芸能生活30周年を迎えた國村千鳥さん。艶やかな衣装と心にしみわたる歌声を熱唱されました。



リピーターとなって毎年参加されている団体の方々もたくさんいらっしゃいます。これからも『海士町の応援団』になっていただけれどお願いします。

「後鳥羽上皇がとりもつ縁」



くまの
熊野懐紙をご存知でしょう
か。その縁から去る7月29日、
和歌山県印南町（いなみ文化
協会）の21名の皆さんが来町
されました。

熊野懐紙とは、後鳥羽上皇
が熊野御幸の時に催された歌
会の折に、参会者が懐紙に和
歌を書き、自筆として今日
残っているものの総称で、三
十数葉が現存しています。

熊野は、熊野三山を始めと
する古代からの靈場として、
平安末期から鎌倉時代初頭に
かけて「蟻の熊野詣」といわ

れるほど参詣者で賑わい、こ
れらの遺跡は先年世界遺産に
登録されましたが、後鳥羽上
皇の熊野御幸は、28回を数え
たといわれています。

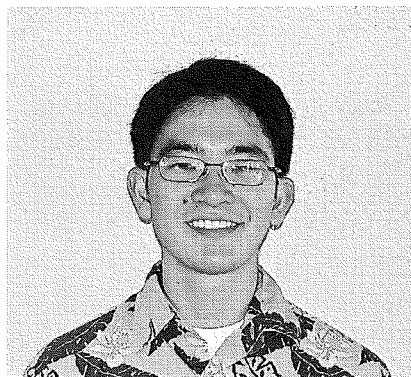
印南町は熊野路の道中にあ
り、熊野三山の御子神を勧請
して祀った切目王子のあつた
町で、ここで催された歌会の
懐紙は、国宝として十一葉が
知られ、因に海士町歴史民俗
資料館蔵の後鳥羽上皇御宸筆

の熊野懐紙（複製）は、藤代
王子（和歌山県海南市）で詠
まれたものです。

いなみ文化協会の皆さんは、
熊野路が世界遺産に登録され
たのを機に、後鳥羽上皇の足
跡を学ばれ、その一環として
はるばる本町を訪れたもので、
後鳥羽上皇の史跡を熱心に探
訪されました。

また神楽の「切目」は、土
地によって「切目」とも呼ば
れるそうで、切目王子との関
連から島前神楽にも大変興味
をもたれました。（榎原信也）

新しい英語助手（ALT）着任 タケノウチ ブレントさん（22歳）



8月からヒューリーステ
ン先生に代わり新しくタケ
ノウチ ブレント先生が着
任されました。

ハワイ出身（日系4世）
でボストン大学を卒業後、
本町に来島されました。

技術は合気道で4段の腕を持
つ達人です。趣味はハイキ
ングだそうです。海士町の

豊かな自然にたくさん触れ
てほしいですね。また、日
本語も埋立・焼却が多く環
境問題にもなっています。
自然環境を商品の付加価
値とする海士町においても、
商品出荷時の梱包資材につ
いて考えなければならない
と思い、町では、発泡スチ
ロールと同じ性能の段ボー
ル製保冷箱の導入を試みま
した。

近年環境問題について消
費者の意識が高まってきて
います。生産地より商品出
荷時に発泡スチロールで商
品を送った時等、大都市で
は発泡スチロールの処理に
困るなどのご意見をお客様
から寄せられることがあり
ます。

この保冷箱は、大漁と岡
村鮮魚店で既存のピンク色
の手提げ箱（中）と同じ値
段の40円で販売しています

本語を話すことはもちろん
読み書きもできる方です。
次回からの広報でブレン
トさんのコーナーを紹介
できると思います。

どうぞよろしくお願ひいた
します。



海の交流活動

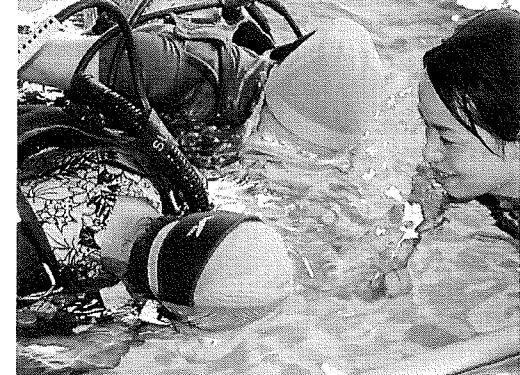
「海士から発信、心のバリアフリーの実現を！」

7月24日松島ダイビングサービス推進協議会では、海洋スポーツ体験をおして、海に親しんでもらうことを目的に、障がいをもつ人、それを支える方々を対象に、海士の自然の中でのダイビングや地域住民との交流を行いました。参加者は、隠岐養護学校の生徒6名と先生6名、海士町内から1名の計13名で、まずは保健福祉センターひまわりのプールでマスクやダイビング器材を装置することを指導し、水中で呼吸をしたり、じゃんけん等をしながら遊びを通して「水中では物の大きさがどのように変わっていくのか?」「色はどのようにならるのか?」体験していただき移動し、海士人のスタッフの主導のもとで、カヤック体験、ビーチボールや浮き輪、スノーケリング、また海水浴を楽しみました。

このような活動を通して松島ダイビング推進協議会では、島ダービング推進協議会では、このように活動を通して松島ダイビング推進協議会では、島ダービング推進協議会では、

洋スポーツ体験をおして、海に親しんでもらうことを目的に、障がいをもつ人、それを支える方々を対象に、海士の自然の中でのダイビングや地域住民との交流を行いました。参加者は、隠岐養護学校の生徒6名と先生6名、海士町内から1名の計13名で、まずは保健福祉センターひまわりのプールでマスクやダイビング器材を装置することを指

導し、水中で呼吸をしたり、じゃんけん等をしながら遊びをして、「水中では物の大きさがどのように変わっていくのか?」「色はどのようにならるのか?」体験していただき移動し、海士人のスタッフの主導のもとで、カヤック体験、ビーチボールや浮き輪、ス



マスク、ダイビング器材を付けて水中をのぞき込む生徒たち

『心のバリアフリー』の実現

に、スタッフ自身も日頃障がいをもつ人と接する機会が少ないために、今回はよい経験ができたのではないかと思います。今後はボランティアスタッフの子どもたちも参加できれば、また新たな広がりができるのではないかと思います。これかためには、今回も海士町の魅力を発信する

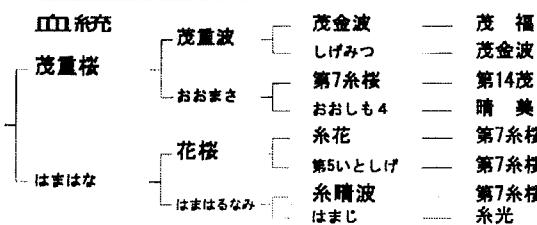
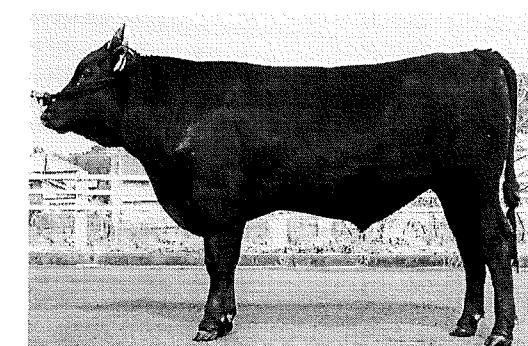
NPO法人海士人、隠岐汽船など、関係各位の多大なるご理解、ご協力に心よりお礼申しあげます。

(松島ダイビング推進協議会)

に整備していくと考えています。



平成19年度島根県新規交配種雄牛
生年月日 平成17年12月2日
生産地 隠岐郡海士町
生産者 茂田延広
直検DG 1.07kg/日



浜花（はまはな）

平成19年度島根県新規交配種雄牛に選ばれる

平成19年度島根県新規交配種雄牛に奥田延広さん（海士町福井）生産の『浜花』が選ばれました。明日の「しまね和牛」を造成するためおおい期待が寄せられています。

また、今年10月11日から14日に鳥取県（米子市）で行われる全国和牛能力共進会にも当種牛が島根県から選抜されました。地域を挙げて健闘をお祈りしたいと思います。

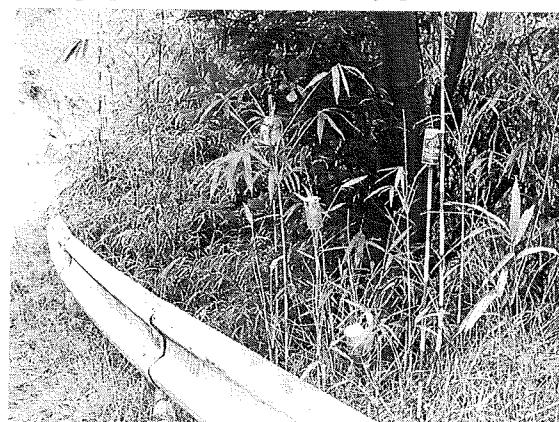
～プロフィール～

「花桜」と「茂重桜」との配合で作出。兵庫系ではあるが糸桜系が濃い。本牛は、資質、尻幅、腿の広さ、皮膚のゆとりに優れている。また、母牛の系統には特肉情報があり、育種価も高く産肉能力の改良に期待。交配は兵庫系、気高系。

交配時期：平成19年10月1日～10月31日

何のメッセージ?

小枝に空きかんの花咲く



かん等を捨てる人が明らかに悪いのです。が、小枝に掛かつた空きかんも見た目が非常に悪いと、多くの方から声が上がっています。

空きかん等を小枝などに掛けている方は、少々面倒かと思いますが、拾つた空きかん等を固めて置いて頂き、役場生活内至る所で目撃されています。

ポイ捨てする人がわざわざそんなことをすることは思えず、ウォーキングや散歩をしている人がポイ捨てされた空きかんを拾い、「誰か他の人が回収しやすいように。」あるいは「ポイ捨てが一向に無くならないことへの怒りの表現。」として、わざと目立つようにしているのではないか、と憶測を呼んでいます。

ポイ捨ては廃棄物処理法で禁止されたゴミの不法投棄にあたり犯罪行為であり、空き

かん等を捨てる人が明らかに悪いのです。が、小枝に掛かつた空きかんも見た目が非常に悪いと、多くの方から声が上がっています。

空きかん等を小枝などに掛けている方は、少々面倒かと思いますが、拾つた空きかん等を固めて置いて頂き、役場生活内至る所で目撃されています。

空きかん等を小枝などに掛けている方は、少々面倒かと思いますが、拾つた空きかん等を固めて置いて頂き、役場生活内至る所で目撃されています。



環境課環境係（TEL2-11826）まで連絡してください。

空きかん、空きビン等のポイ捨て防止については、今年度から浦郷警察署の協力も得て、対策を強化することとなりました。（生活環境課環境係）

〔諏訪苑〕 懐かしい歌や盆おどりに思いを馳せて、
「夏だより」

7月8日諏訪苑にて、マリンエコーの皆様による七夕コンサートが開催されました。夏にちなんだ童謡を披露していました。ただ、中でも昔懐かしい童謡をお年寄りの皆さんも一緒に口ずさんだり、また、踊りの場面では、楽器を使って拍子を合わせたり、手拍子をしたりして楽しみました。そしてまた、お年寄りからのお詠言の披露もあり、終始穏やかな雰囲気のもと、楽しむ一時を過ごすことができました。

お年寄りの方は年1回の盆踊り大会を楽しみにしており、「唄や踊りは昔のまままだ楽しいひと時を過ごしました。

また、8月5日には、ひとり足早く、『盆踊り大会』が開催され苑庭にやぐらを設置し、提灯が彩りを添えました。やぐらの周りを、浴衣姿の北分婦人会の方々が踊り、やぐらの上では、東地区の有志の方の、唄や太鼓が鳴り響き「くどき、山崩し」の盆唄に合わせ、お年寄りや家族の皆さんお踊りの輪が広がりました。お年寄りの方は年1回の盆踊り大会を楽しみにしており、「唄や踊りは昔のまままだ楽しいひと時を過ごしました。

◆終戦当時の引揚者の方々へ
通貨・証券などを返し
しています

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。
◆終戦後、外地から引き揚げられてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

◆外地の集結地において総領事館、日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち日本に返還されたもの

返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心あたりの方は、上陸港を所轄する税関または境税関支署へお問い合わせ下さい。



問合せ下さい。

境税関支署
〒684-10034
境港市昭和町9番地
境港港湾合同庁舎内
TEL (0859) 422228
FAX (0859) 43893

	補正前	補正額	歳入歳出総額
一般会計	3,765,175	110,992	3,876,167
国民健康保険事業勘定特別会計	374,144	2,522	376,666
簡易水道特別会計	142,573	6,000	148,573
老人保健特別会計	426,910	496	427,406
下水道特別会計	526,073	2,293	528,366

議決されました。その結果、原案通り可決しました。

上程された主な内容は次のとおりです。

一般会計
国民健康保険事業勘定特別会計
簡易水道特別会計
老人保健特別会計
下水道特別会計

3,765,175
374,144
142,573
426,910
526,073

110,992
2,522
6,000
496
2,293

3,876,167
376,666
148,573
427,406
528,366

第457回定例会が6月28日開催され
条例 8件
補正予算 5件
その他12件が上程され慎重に審議しました。その結果、原案通り可決しました。

上程された主な内容は次のとおりです。

6月定例会

条例改正

「公の施設設置に伴う条例制定について」

隠岐牛・地元農畜産物を販売提供する食堂機能・地場産品等の情報発信機能を併せ持つ、「地域産物販売提供施設設置及び管理に関する条例制定」と地域食材の研究開発・示機能を持ち、地元住民と来訪者の交流促進を図る、「総合交流施設設置及び管理に関する条例制定」の2案件が上程されました。提案理由の説明が行われた。また、公の施設の指定管理者の指定については、豊田地区に設置された水産加工体験交流施設は、地区事業として取り組んできた実績を勘案して非公募で豊田地区のグループ「海の駅松島」を指定管理者に指定する件。地域産物販売提供施設については、指定管理者募集の公募を行い、二社の応募があったが「有限会社潮風ファーム」のみから事業計画書が提出され、審査の結果、指定管理者に指定する件。2案件が「海士町公

議のうえ全会一致で承認の上、議決されました。公の施設の指定管理者の指定は、地区集会所の14ヶ所を含み、合計28ヶ所になりました。

「海士町すこやか子育て支援に関する条例の一部を改正する条例について」

平成16年10月少子化対策を推進するため町と議会が一緒になつて条例を制定施行し

た結果相当の効果を上げてきたところであるが、国の流れや子育て世帯のニーズに対応するために内容を充実したものである。

「海士町環境美化条例の一部を改正する条例について」

野焼きに対する指導や勧告措置命令を出し公表や立入調査の対象とするなど野焼きを禁止するものである。(参考)例については、田畑のアデ草や屋敷まわりの生垣剪定枝、雑草等の焼却については、この限りではないとしている。

*子育て支援の改正内容

○妊娠・出産・子どもの通院等に係る交通費等助成
受給資格 海士町に在住し、引き続き定住の意志を持つ者

○保育料軽減
受給資格 保育所の第3子以降が入所した時無料

○転入児童生徒等奨励金
受給資格 海士町に転入してきた児童生徒等で引き続き定住の意志を持つ者
支給額 50,000円/人
18歳以下の児童で転入6ヶ月後に支給する

○海士町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について
子育て支援の更なる充実を図るために改正したものです。
3歳未満の乳幼児を対象にしていたものを就学前の前乳幼児を対象に支給する。
上限額 入院2,000円 入院外1,000円
(3歳以上立替払い)

三セク「ふるさと海士」の
経営問題を改善せよ

問
波多議員

新人議員の波多紀昭、今日

がデビュー戦。この席に立つ

に当たり、「我なにゆえに議員

と、成り賜いしか」という政

治的命題と向き合い、我が志

は奈辺にあるやと、問いつつ、

確かめつつ、然るところ、世

のため、人のために尽くさん。

と覚悟を決めた。人生の後半

を迎えたものの、その間、培

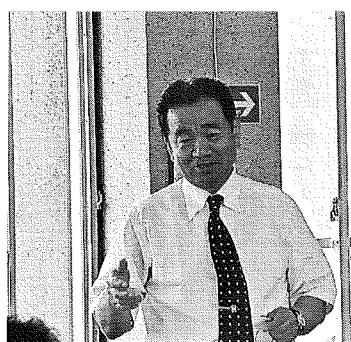
った人脈・知識・経験をもと

に、町民の日常生活に最も身

近な町議会の場を通じて、前

町政を問う

一般質問



波多 紀昭 議員

述の想いを果たさんと挑戦し、結果、こうして為政壇上に立たせていただいた。新しい舞台で、心機一転、賞味期限は4年間、何事にも臆することなく、この清新な想いを強く維持しながら、頑張つて参る所存です。本日ここに、ご支援いただきました方々に、感謝の誠を捧げますと共に、議会議員、山内町長や行政幹部の方々と新たな出会いをいただきましたことができました。どうぞ、末永いお付き合いをいただきますよう、お願ひ申し上げます。

さて、一般質問の通告に従い、私見を交えながら、三セク「ふるさと海士」の経営問題、中でもCAS事業に絞り、町長（社長）に、今後の健全経営に向けた取り組みについて伺いたい。（株）ふるさと海士は、地域振興を目的に設立され、事業の発案、導入、事業化、そして、運営段階に至るまで、町長の強いリーダーシップにより企業化され、4年目を迎える。同社の業務は、CAS事業部、塩事業部、キンニヤモニーヤ事業部の3部

門。中でもCAS事業部は、本町の産業振興の核としての位置づけでスタートし、当初の建設費は、4億1千万余（平成17年5月）。その年度末には（平成18年2月）1億円を新たに投じて、製品倉庫（保冷庫）を整備。また、資本金は設立時に1億円（9千万円が町の出資金）。加えて先月には、町の金融支援（経営安定化資金）として、1億5千5百万の増資を町が全額手立てするなど。操業後1～2年内に矢継ぎ早に設備や資本の増強を行うなど、投資規模を拡大。しかしながら、同社の第3期株主総会で公表された営業報告書によれば3事業部の全体売上げが1億1、990万7千円。目標額の61%に留まり当期欠損額は1、254万8千円という赤字決算となり、当期末処理損失は5、

033万5千円に及ぶ。今期CAS事業部の低迷（売上不振）が響き、目標額の40%と大きく下回ったためだとしてい（売上目標額が1億円に対して4、170万5千円）。町長（社長）ご自身、この決算評価について「お見込み通りの決算であつたか、或いは志に反する決算であつたか」そこで斯かる業績推移の中で「CAS事業部の運営が果たしてうまくいっているのか」という点について、率直に伺いたい。1点目は、激変する社会情勢に対応して本町産業の振興、育成という観点から、CAS事業の事業化（企業化）の狙い、理念について、再度卷く経営状況の認識と、当面事業として、成立する事業の売上と費用が均衡する損益分岐点の売上高の見込額とその達成時期について伺いたい。

3点目は、今後の同事業をどのように展開していくつもりか、とくに「実質的な経営体制」の確立の視点から、町長と、とう行政の立場からの地域経営と、三セク経営の社長といふ二足のわらじ。常々現場主義者たることを標榜して止まない町長として、この兼任問題についてのご所見を伺いたい。

1点目について、CAS事業の理念については、議員ご指摘の内容と変わるものではない。事業コンセプトとして、何のために、どんな役割を、何を目指すのか。いささかも搖るぎないし、苦渋の選択とはいえ、地域合意の中から単独町制を決断し本町の生き残りを賭けた取り組みのメインがCASだと思つている。常々CASイコール海士町の思いであり、正に、地域再生のシンボルとしての位置づけに変わりはない。

2点目について、計画と実績のズレは認めざるを得ない。要因として、自然を相手とする漁業では不測の事態が時として起きること。主力商品である白イカの不漁と漁獲期のズレのような例、また、事業の立ち上げ以前に、予備的な調査に基づいた計画が立てられなかつたこと等あげられるが、ようやく営業基盤、市場調査が整いつつあるところだと理解して欲しい。損益分岐点については、今の流れから目標修正し、1億円としているが、市場ニーズと安定した供給能力を提供するには在庫の積増しをするなど。現金化までの時間差が必要であるビジネスモデルということも何を目標とするか。いささかも理解いただきたい。

3点目について、いわゆる経営体制については、事実、私は二足のわらじを履いているが、社長職は、いずれ人を得て交代し、経営に向く人を迎えるべき考え方だ。全国的な視点から、人的体制の充実に努めたい。幸い、総務省の地域再生マネージャー事業に採択され、これを機に、人を得る施策も取り入れたいと考えている。

問 波多議員

今後の展開においても、（株）

ふるさと海士の自立は、種々制約要因が立ちはだかることが想定されるが、しかし、事業は近未来地域に貢献する可能性は高く、今は「結果を急ぐな」と承知したい。二足のわらじは激職だが、当事者意識はもちろんのこと、経営の結果責任を負う覚悟に期待している。

答 町長

ふるさと教育の振興を
積極的に

問 波多議員

「地域の歴史」を考える機会を増やし、ふるさと海士に生きる喜びを再認識してもらおうというものです。本町には遺跡、史跡、歴史に関する石碑や古いわれ、生活の中に言われるようなものまでたくさんある。そこには必ず、「歴史」がついて回る。そのような身近に、足下に息づいている「地域の歴史」や伝統文化といったものを掘り起こし、ふるさと教育副教材として、教育現場や公民館活動の事業に取り込めばと考えているが、教育長の考えは。

答 佃教育長

ふるさと教育の振興についての内容だが、1点目の、本町固有の歴史を学ぶ機会づくりについては、施設、人材が整備されている中、小中学生とも日々の授業を通じて、かなりの成果を上げていると自信している。マスク等でも



海士町の歴史・伝統文化、産業について一橋大学でプレゼンテーションする海士中2年生たち

報道されたように一橋大学での発表もその例である。

生徒たちが自分たちで海士の歴史を調べたことを大勢の前で、自信を持つて堂々と発表し、しかも自分の言葉でふるさとを語ることはふるさと

の良さを再発見したものと受け止めている。2点目の郷土資料の中にある副読本としての教委独自の資料はないが、学

校資料として小学校中学校用、高学年用は活用されている。今後とも資料の整備や有効活用については更なる配意をしながら進めていく。

地域再生計画が平成16年6月に認定され「海士デパートメントストアプラン」へ選ばれし島まるごと届けますとのタイトルで、地域再生の目標は、人づくり、ものづくり、健康づくりの3本柱を相互に連携して本町の総力を結集して進むものである。この事業の連鎖の媒体として海士版の「地域通貨」を導入し共同体意識を再構築、持続可能なコミュニケーションニティー活動を進めることで地域の創造性回復につながるものと期待できる。「地域通貨」は菱浦地区の経済の活性化を目指す元気な集落づくり

地域再生計画が平成16年6月に認定され「海士デパートメントストアプラン」へ選ばれし島まるごと届けますとのタイトルで、地域再生の目標は、人づくり、ものづくり、健康づくりの3本柱を相互に連携して本町の総力を結集して進むものである。この事業の連鎖の媒体として海士版の「地域通貨」を導入し共同体意識を再構築、持続可能なコ

ミュニティー活動を進めることで地域の創造性回復につながるものと期待できる。「地域通貨」は菱浦地区の経済の活性化を目指す元気な集落づくり

が、しかし、現実には至らなかつた。

国の目的は、住民基本カードの活用と地域通貨をセットにした実証実験であつても、一端取り上げた以上はこの活性化についてやらねばならないという思いで取り組んできた。今後どのようにしていく

り事業として導入されたものである。この計画の事業費は総額で3千万円でお金に換わるもののが「ハーン券」と言いこれが5百円と千円の券で運用され平成18年3月までに総額450万円分の発行がされた。全町はもとより松江市まで拡大すると聞いているが拡大どころか「ハーン券」の姿も最近見えない状況だ。現在の利用状況と経済効果について伺いたい。

地域通貨については、確かにあまり動いていないと言つのが実態である。これは菱浦地区から始めた地域経済の活性化というのが大きな目的で、しかも実証実験であるが、それで終わるのではなく本来なら松江の夜の街でも使えるようにならう想いはあつたが、しかし、現実には至らなかつた。

この件についても当初計画はかなり90名のIターン者がどうなりのことうと聞いていた。その後さらに140何名とか聞いた。定住策のどういう策がまずいとは言わないが残念な結果である。この歯止めについて伺

かということについては、菱浦地区的活性化委員の皆さんと相談してこれからの方針について相談し、或いはもつと商工会とも連携をしながら強化をしていきたいと思う。現状はご指摘のとおりである。

かということについては、菱浦地区的活性化委員の皆さんと相談してこれからの方針について相談し、或いはもつと商工会とも連携をしながら強化をしていきたいと思う。現状はご指摘のとおりである。

問 花岡議員

地域通貨(ハーン券)の利用状況は



花岡 美近 議員

地域通貨(ハーン券)の利用状況は

問 花岡議員

地域再生計画が平成16年6月に認定され「海士デパートメントストアプラン」へ選ばれし島まるごと届けますとのタイトルで、地域再生の目標は、人づくり、ものづくり、健康づくりの3本柱を相互に連携して本町の総力を結集して進むものである。この事業の連鎖の媒体として海士版の「地域通貨」を導入し共同体意識を再構築、持続可能なコ

ミュニティー活動を進めることで地域の創造性回復につながるものと期待できる。「地域通貨」は菱浦地区の経済の活性化を目指す元気な集落づくり

が、しかし、現実には至らなかつた。

国の目的は、住民基本カードの活用と地域通貨をセットにした実証実験であつても、一端取り上げた以上はこの活性化についてやらねばならないという思いで取り組んできた。今後どのようにしていく

かということについては、菱浦地区的活性化委員の皆さんと相談してこれからの方針について相談し、或いはもつと商工会とも連携をしながら強化をしていきたいと思う。現状はご指摘のとおりである。

問 花岡議員

定住人口拡大方策の展開は

町の存亡に関わる最大重要な課題で定住者にとって住みよい環境をつくることは当然である。国勢調査の終了時には2,581名と聞いていたが、今年5月末の人口は2,444人で減少の一途をたどっている。U-Iターンに対するやり方はかなり評価は出来るが、最近なんと言つても在住者の家族ぐるみで島外へ流出する方がかなりのウエートを占めている気がしている。この件についても当初計画はかなり90名のIターン者がどうなりのことうと聞いていた。その後さらに140何名とか聞いた。定住策のどういう策がまずいとは言わないが残念な結果である。この歯止めについて伺

答
町長

歯止めの施策があれば逆に聞きたいところだが非常に残念である。頑張っている割にその歯止めがきかないというのも事実である。やつてはいる割に人口が増えないと言う人もいる。しかし我々があれから後なんにもしなかつたら本当に人口がどれだけ増えただろか減つただろうかということを考えたときに、数字でいうこの3年間で145人、78世帯の人が1ターンで来られたというこの事実は事実として受け止めてもらいたい。手をこまねいていてはもつともつと2、300をきついていたと思う。自立促進プランに従つて、今一生懸命産業興しをやつてはいる。また新しい試みとして一人でも多く島に来て、定住をしていただきたいということで産業創出課、交流促進課が一緒に頑張つてはいる。受け皿である第三セクターふるさと海士が数字を出していくことによって雇用人口が拡大できると思う。

町有財産の管理は適正か

問
花岡議員

前から指摘をしてきたが、現在も全く管理がされていない

物件がある。管理方法は台帳によつて管理しているとのことでしたが改善されていない理由として財産ごとの個々の管理簿が作成されていないと承知するが大切な財産が壊れるとそれ以上の金を捻出して修繕しなければならない状況が発生する。町有財産の修繕計画とプライオリティといふか優先順位をつけしつかり管理をしてもらいたい。

答
町長

この件については、再三指摘を受けていることも事実である。そして改善に向け鋭意努力しているところだ。ご指摘の財産は主に行政財産で建物のことを言つてはいると思ふ。財産については現在財産台帳によつて管理をしており管理簿による管理はしていな

い。管理簿を作成しなくても財産台帳を活用すれば管理は十分に可能と考えている。こ

の際、一斉調査を実施し管理状況或いは把握の状況、管理の徹底に努めたい。

答
澤田副町長

財産台帳で管理はしているが台帳についてはパソコンで管理しているので台帳の中にそういう要項を設ければ、そこの部分でどういう修繕が必要か或いは何年後に計画するとか、管理は二重に台帳でくるのではなく一つの台帳で整理すればよいと思つてい



諸般の報告

5月

第45回海士町議会臨時会

岩手県葛巻町議会交流会

第46回海士町議会臨時会

けいしょう保育園竣工式

隠岐島町村議会議長会定期総会

福井小校区評議員会

第32回町村議会議長、副議長全國研修会

隠岐島前森林復興公社通常総会

島前地区防犯連合会総会

環境美化推進対策会議パレード

隠岐広域連合議会運営委員会

島根県町村議會議長会臨時会

全国離島振興協議会通常総会

隠岐振興第16期定時株主総会

全員協議会

隠岐広域連合議会臨時会

全員協議会

隠岐広域連合議会臨時会

全員協議会

海士町観光協会通常総会

がんばる地方シンボジウム並びに一橋大学訪問
島前町村組合議会

*亀谷議長が隠岐島町村議会議長会議長に就任。

併せて、島根県町村議會議長会副議長に選任されました。任期は平成21年6月までの2年間です。

編集後記

議会広報は、議員自らの自主編成とその体制づくりを前提に、先の議会で、議員提案を以つて、「広報調査特別委員会」を設置した。

波多(長)・松田(副)・上田・柏原の4名を選任。「議会広報は結論の広報ではなく、経過の広報である」という。その経過こそが議会の存在価値と見出すべく、今後は努めて議案の審議過程、審議内容の要点だけでも記して行き、議会の実像を見ていただきたいと

思う。また皆様のご要望・ご意見も遠慮なくお寄せくださいますようお願い申し上げます。
■山内町長が、去る6月に「離島生き残るための10の戦略」(NHK出版生活人新書)を全国発売した。事例を踏まえ、ハンディキャップを逆手にとった発想を突破口にしている。小さい、狭い、不利といわれようが、必ずや島の資源、優位性と知恵を發揮して勝ち残るのだと。

手前勝手な解釈だが、ダーウィンの「進化論」では、生き残る種は、必ずしも強く大きいモノではない。順応性の高い種が環境に適応し進化するとの読みと重なる。周りの大きな力に取り込まれようが、苦境を乗り越えて、結束し、俺らが島の力を發揮する島びとの知恵が見えてくる。

■離島活性化伝道師・山内町長の真骨頂。まさに地域の可能性とは、その地域に住んでいる人々の環境適応能力の総体と言える。隠岐発島興しの好書。一読をお勧めしたい。(波多記)



教育だより

小学5年生から中学3年生まで、町内21名町外18名の計39名のキャンパーが参加しました。

テントを張った夜と次の日の夜、雨に見舞われました。町内では落雷があり停電があつたのですが、キャンプサイトでは雨を何とかしのぎ、

☆参加者の感想より

海士中2年生 青山 健太郎

僕はこのアドベンチャーキャンプを通して学んだことが2つあります。それは「自主性」と「連携力」です。

「自主性」では毎日のご飯作りの時に、自分から進んで行動することで早く作ることが出来るので大事だと

いうことを学びました。

「連携力」では、イカダ作りの時に班員全員で協力して作ることによってとても良いイカダを作ることが出来ました。そしてイカダ

レースの時にもみんなで声を出し合って励ましたり、見事1位になりました。みんなで協力することはとても

家のありがたさを感じたこと

（発見から39年）

竹田出土の銅剣



と思います。暑い中での3食の食事作り、片づけ、イカダ作り・航海等、つらい事や苦しい事が沢山ありました。仲間と一緒に乗り切ったという経験は大変貴重であり、今後の生活に活かしてくれたら・・・と思うばかりです。

も大切だとすることを学びました。また、このキャンプには島外からの参加者も多く、初めは仲良くなれるかどうか不安でしたが、日がたつにつれて仲が深まつたので良かったと思います。

力ウンセラーやスタッフのみんなにはとても過ごしやすい環境を作ってくれたので何の不自由もなくこの6日間を過ごすことが出来ました。

このアドベンチャーキャンプを通して学んだことを

今春オープンした県立出雲古代歴史博物館は、世界遺産登録を果たした「石見銀山展」でぎわっている。博物館の庄巻は、出雲大社で見つかった宇豆柱であるが、常設展となっている弥生時代の青銅器は、古代出雲を語る上で見逃せない資料である。神庭荒神谷の358本の銅劍や加茂岩倉の39個の銅鐸、これら大量の青銅器が埋められた謎解きに様々な説があるが、約二千年前の出雲世界では青銅器が祭祀に使われていたらしくことは定説とされている。

量の銅剣に眼を奪われがちであるが、本町竹田遺跡出土の銅剣（県指定文化財）を忘れてはならない。竹田の銅剣が見つかったのは、昭和43年、海士中学生によるものであった。昭和59年、荒神谷の大発見以前の銅剣の全国での総数は、約300本だったといわれている。竹田の銅剣が発見された当時はもつと少なかつたと思われるが、県下では3本目、他の2本は神社に伝承されたもので、発見地が分かり、しかも時代を特定できる弥生式土器を伴っていたのは竹田発見の銅剣が最初であり、画期的な発見であった。その後、昭和48年、鹿島町志谷奥遺跡から銅剣6本と銅鐸2個が発見されたが、現在でも荒神谷遺跡を含め、県下の銅剣出土地は伝承地を入れ7例しかなく、竹田遺跡の歴史的価値は決して損なわれるものではない。

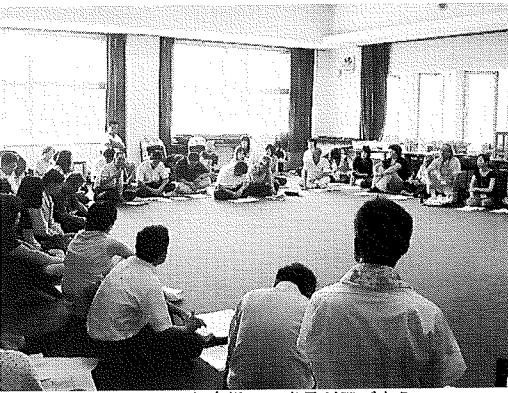
冒頭の写真は、実りの秋を迎えるとする竹田遺跡の遠景である。海士の弥生人たちは収穫をどのように祝つただろうか。

第2回 学校工コ改修検討会



7月30日・31日、海士中学校にて「第2回学校工コ改修検討会」が行われ、多くの方が参加しました。今回は4部構成で、自然の活かし方を学ぶと共に、どのような学校にしていきたいか意見交換をしました。

こんな学校いいな。
「夢の学校づくり」



いろいろな立場での意見が飛び交う

お互いに地元の紹介をする

②講義

「自然・環境・建築」

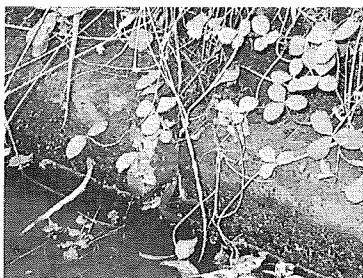
小玉 祐一郎氏

「この地球の環境は祖先から受け継がれてきたものだ。しかし、私たちからの借り物だ」という言葉から始まり、人にとって効率の良い建築を考えるのではなく、気候や自然を活かした建築の重要性をお話されました。

「地域や風土にあつた建築」
兼子朋也氏・長野和雄氏
日本全国の地域によって特色を持つた建築や、隠岐の島の建築や工夫があり、それを改修した。海士にも海士らしい建

アカニさんが交通事故に!?

みなさんは、「アカニ」を知っていますか?毎年夏7・8月になるとたくさんのアカニが道路を横断しているのを見かけたことありますか?



真っ赤で立派なアカニ!

に活かしていきたいと多くの人が感じたようでした。

③講義

「自然エネルギー(バイオマス)」
都筑 建氏

太陽光・風力・バイオマスなど、自然の力を活かす「自然エネルギー」についてお話しいただきました。学校で自然エネルギーを取り入れる場合、常に発電量を表示するなどして、子ども達が自然のエネルギーに触れ、学ぶ場もつくることができます。

④座談会

「学校とまちづくり」

みんなで円になり「どんな学校がいいか」「どんな改修をしたいか」意見交換をしました。「3階の夏の暑さがひどくどうにかしてほしい」「環境教育の拠点になるように、自由に地域の人が入れるスペースを作りたい」など色々な意見が出ました。

最後に・・・

「工コ改修事業」について色々な立場の人々がそれぞれどう

関わっていけばいいかまだ分からぬ状態ではあります。これから何十年も学校を使つていく「海士町の子ども達」のために一致団結して素敵なお話を聞いていました。皆さん、応援よろしくお願いします。

第3回検討会

9月6日(木)岡山県の小中学校に環境建築・学校建築の先進事例を視察します。

◆◇次回のお知らせ◆◇

多くのアカニが産卵のため海をめざします。特に多く見ることができるのは、福井小学校周辺です。小学校の裏山から海までアカニの大移動が始まります。しかし、道路が大きく横切っているので、車に引かれてしまうアカニも少なくありません。中にはお腹にたくさんの卵を抱えたまま死んでしまうメスのアカニもあります。

7月27日(金)、アカニガニの研究を進めている福井小6年生と浜田市松原小学

アカニの特徴

- ★大きな赤い手
- ★えらに水をためて何日間も生きることができる。
- ★じめじめした土などが好き

～福井小6年生の新聞より～

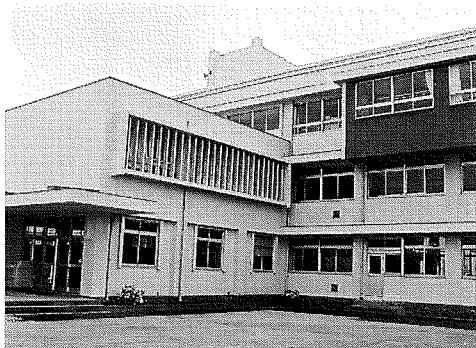
人間力推進PJの取り組み

（各チームの取り組み紹介）

前回の広報で人間力推進PJの今年度の方針及びテーマを説明しましたが、今回からはそれぞれのチーム毎の取り組み状況をお知らせします。

【島前高校の魅力化】

高校チームは、町の重要な課題である島前高校の存続発展のために、島前高校と一緒にさらに魅力があり永くに発展していく学校にするための施策を考えています。四月から七月の間は現状把握のためにヒヤリングを行ったり、新しい施策の可能性を模索してきました。また、島前高校の先生方と会を持ち、島前高校の取り組みを紹介してもらいました。その中で、英・数・理を3クラスに分けて授業を実施していました。勉強合宿をするなど、個別の学力に応じたきめ細かい指導がされていることがわかりました。



島前高校の問題は海士町だけの問題ではありません。

今後三町村の教育委員会や県と連携しながら、島前高校と一绪にこれから姿を共に描き、何ができるのかと考え、取り組んでいきたいと思います。

整理し、活性化策について検討します。

【若者の活動支援】

若者チームでは、まずは町内の現状把握をしようとしています。

30代以下を対象に聞き取り調査を行っています。

今後、課題点、要望等を

整理し、活性化策について検討します。

【出郷者との協働】

戦後、海士町から都会に行つた方は何千人といいます。

現在、関東海士後鳥羽会、近畿海士後鳥羽会、松江海士後鳥羽会などを通した繋がりがありますが、もつともつと交

流を強くすることにより新しい取り組みが可能と思われます。出郷者や都会の人たちが

行つてみたい！住んでみた

い！と思える海士町にするに

流れを強くすることにより新し

い取り組みが可能と思われま

す。出郷者や都会の人たちが

行つてみたい！住んでみた

い！と思える海士町にするに

は？を視点に置き、新しい絆のシステム化の構築を目指します。

具体的に、テーマを「出郷者とする海士」とし、3年後

の目標として次の2つを掲げました。

1、ネットワークづくり

○出郷者ネットワークの作成

に取り組み、海士の情報をで

きるだけ早くタイムリーに提

供できるシステムの構築

【女性の活動支援】

○ネットワークを利用したふるさとネット事業の推進を展開

○出郷者の「地元再発見ツ

ア」を実施し、海士町の取

り組みの理解と共有化を図る。

は？を視点に置き、新しい絆のシステム化の構築を目指します。

具体的に、テーマを「出郷者とする海士」とし、3年後

の目標として次の2つを掲げました。

1、ネットワークづくり

○出郷者ネットワークの作成

に取り組み、海士の情報をで

きるだけ早くタイムリーに提

供できるシステムの構築

ネットワーク
づくり



【女性の活動支援】

浴衣美人が勢い!? 三人寄れば何とやら…。茶話会で世代を超えた交流が生まれました。

第1弾 洋服の着付け講習会

海士の女性がもっと暮らしやすく、輝くために何が必要か？ちょっと難しいテーマについて、女性有志に集まって頂き情報交換しました。

「海士の女性は、とても元気があつてハツラツとしている感じがない。世代を超えて繋がる場が少ないかな。」若い年代の人たちからは、「知らないことやできないことを、学ぶ場があるといいな。いろいろな世代が集まつて、お互いに

知っていることを交換しあつて、意見をお聞かせ下さい。また、

協力により、三歳から七十代までの幅広い年代の方が集まり、着付けを習い、年齢を超えた交流ができました。

今後も、郷土料理や、筆ペン教室など、お役に立つ講座

このサマーサイエンススクールは、4日間かけて科学の講義や実験、フィールドワークを行い、科学的な視点を通じて、科学の視点を取り入れた上で「持続可能な未来」を作成しました。

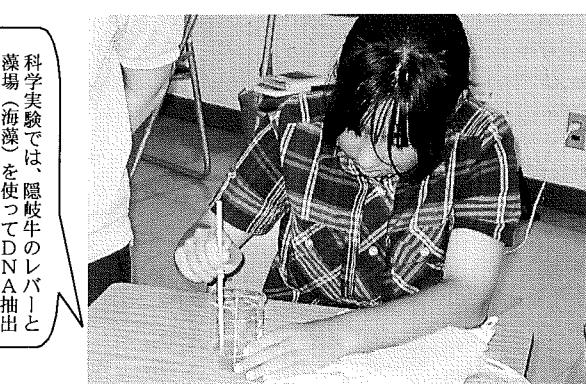
島前高等学校の生徒6名と、東京を中心とした都会の中高生10名、そしてスタッフとして東京大学、筑波大学、奈良女子大学、横浜国立大学の学生を中心とした若手研究者7名（株式会社リバネス）が参加しました。

今回のイベントには、隠岐島前高等学校の生徒6名と、東京を中心とした都会の中高生10名、そしてスタッフとして東京大学、筑波大学、奈良女子大学、横浜国立大学の学生を中心とした若手研究者7名（株式会社リバネス）が参加しました。

①地球環境問題や生態系、DNAなどに関する科学講義
②海士町の自然観察や施設見学、町民へのインタビュー
③パソコンを用いたプレゼンテーション作成

日（日）の間、4泊5日の合宿形式で、サマーサイエンススクール in 海士（モーター ボート競走施行者協議会助成事業）を開催しました。

から「持続可能な社会」を作るための提言を行うという、新しい環境教育プログラムです。本プログラムでは、島の高校生と都会の中高生、若手研究者とが交流しながら、



- 隠岐牛から学ぶ
○離島なりのリサイクル
○海士の海の恋人
○森を救え！千本桜と杉の再生法
● 住みやすくし隊！
○海士の海の今を知ろう
○水・魚で海士復活！？
○資源→MONEYにする方法

参加者が考えた提言は！

次の4つです。

すべて海士町の特徴、特産品である、森林、海、隠岐牛、天然水、CASなどを題材として、現状を科学的に分析した上でいかに生態系の保全を行つていか、どのように資源を活かしたビジネスを立ち上げるか、といった提言となりました。2日間という短い期間のフィールドワークでしたが、参加者たちは海士町全体を巡り、現状の問題点や活かしきれていない資源に気づき、

上がりました。また、参加した中高生からは、「島に住んでいる私でも新しい発見が沢山あつたので、今回サイエンススクールに参加できなかつた人に、是非伝えたい」、「とにかく地元の人とこういつた視点・テーマで交流ができた事

が嬉しかつた。考える段階でも自分が思つてもみなかつた意見を言つてくれて、いい刺激になりました。先入観の無い柔軟な思考と科学的な視点とを外部から取り入れることで、地元の価値を再発見し、中高生にとっても交流と新たな学びを得る場となる、価値ある5日間となりました。



グループごとに真剣に取り組むDNA抽出実験

よりよい社会作りのためのアイデアを考えました。

報告会に来た海士町住民からは、

「大人顔負けの発表だつた」、「耳が痛いこともあつたけれど、実現できそうなものもあつて感心」といつた声が



報告会に向けて一グループで熱い討議をする生徒たち



岡山県井原市県主地区を訪問

児童交流

8月4日～6日(2泊3日)

たくさんの思い出と感動を与えた交流

海士町の小学生
15名参加

岡山県井原市県主地区を児童交流のため海士町の小学生15名が訪問しました。

井原市との交流は、平成5

年に「鳥羽踊り保存会」の皆さんのが隠岐神社に「鳥羽踊り」を奉納したのがきっかけとなり始まりました。県主地区には、後鳥羽上皇が海士に流されお亡くなりになりました。言い伝えがあり、上皇をお慰めした踊りを今日に伝えたものが「鳥羽踊り」とされています。

平成9年からは児童交流が始まり、交換に双方の地区を訪問したり、絵画や習字などの作品を学校や産業祭で展示するなど交流が続いています。

前日の台風5号の影響を心配しましたが、朝無事出発。境港

に着いたらうだるような暑さの中、井原市の方々がわざわざバスで迎えに来て下さいました。そして、昼食を挟み約3時間で井原市に到着しました。さつそく金剛福寺や鳥羽院御陵を見学し、後鳥羽上皇にまつわる言い伝えの説明を受けました。その後、老人福祉センターに移動。県主小学校の児童19名と対面し、歓迎会が行われました。来賓の方々から歓迎のお言葉や記念品をいただいた後は、児童がプレゼント交換をしたり、その夜開催される「井原夏祭り」の踊りの練習を一緒に行いました。

その後は、井原市駅のメイソンストリートで開催される「井原夏祭り」にみんなで参加しました。各種団体がそれぞれに衣装をまとって踊りを披露する、総勢1200人の大パレードです。1時間くらい汗びっしょりになりながら踊ったあとは、沿道に立ち並ぶ屋台で皆思い思いに買い物を楽しみました。

宿泊場所の青少年研修センターでは、双方の児童たちが

4人1組で泊まり、すっかりうちとけた様子で消灯後もおしゃべりが弾み、興奮と暑さも加わってなかなか寝付けなかつたようです。

2日目は、朝6時に起床。

地元の元気なお年寄りと一緒にラジオ体操をして、目を覚ました。午前中は井原市出身の彫刻家「平櫛田中」の作品を展示した田中美術館を見学し、瀬戸大橋の与島パークへ。昼食は倉敷市内の食べ放題飲み放題のお店でバイキングを楽しみました。そこには、焼き肉・お寿司、またデザートはアイスクリームから綿菓子等豊富な品揃えで、子ども達は十分満足できました。午後は、チボリ公園散策で、フリーパスポートを手に、様々な乗り物やアトラクションで時間いっぱい楽しみ、夜には、美星天文台で木星や金星などの天体観測を行いました。木星の周りの月まで見ることができ子ども達は大感激でした。

例年の事ですが、井原市訪問期間中の鳥羽踊り保存会の皆さん、保護者の皆さん、その他スタッフの皆さんのおもてなし、お心遣いには感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達も沢山の思い出と感謝の気持ちでいっぱいです。

例年の大勢の皆さんの紙テープでのお見送りに『海士の子ども達はテープを張つて送ることはあるても、張つてもらうのは初めてだね』と大感激でした。

境港では、大勢の皆さんに乗り込み、鳥羽踊り保存会の方々と一緒に境港まで送つて下さり、バスの中でも楽しいひとときを過ごしました。

今年は県主の児童も大型バスに乗り込み、鳥羽踊り保存会の方々と一緒に境港まで楽しむひとときを過ごしました。

最終日は、県主小学校でお別れ会が行われ、児童達が住所交換を行つたり、最後の交

(人間力推進プロジェクト)

AMAワゴン

～宮治勇輔氏～

出前授業報告

第7回海士ワゴンが、7月11日から15日にかけて開催された。海士ワゴンとは、様々な分野で活躍する若手の講師を招き、都会の大学生も巻き込んで海士を活性化しようと発案された企画だ。今回は総勢9名が島を訪れた。

今回海士ワゴンを率い、島



自分たちの夢をイメージするドリカムマップ作成の様子

最初に生徒に対して聞き込みを行つた。どんな職業になりたいかだ

業の講師を勤めたのが宮治勇輔氏だ。宮治氏は大学卒業後、大手人材派遣会社に就職された後に、現在は養豚農家を経営されている。以下に宮治氏の出前授業について報告する。

今回の授業では中高生のキャリアをテーマとして扱つた。進路について悩み始めた中高生に対して、自分の5年から10年後のイメージをつくり、

「今ここにあることを頑張らう」という気持ちを高めてもらおうことが狙いだ。

夢を文章や写真にして目に見える形にすることを目指的として、自分の夢を言葉や写真にし、一枚の紙の上に表現する作業を行つた。

最初に生徒に対して聞き込みを行つた。どうぞよろしくお受けください。

私たち自身、今回の授業を

けでなく、「どんな所に住みたいか?」、「どんな性格の人になりたい?」と質問をし、中高生の話に耳を傾ける。はじめは照れていた中高生たちも、噛み砕いて深い質問をしていくと徐々に口を開き始める。

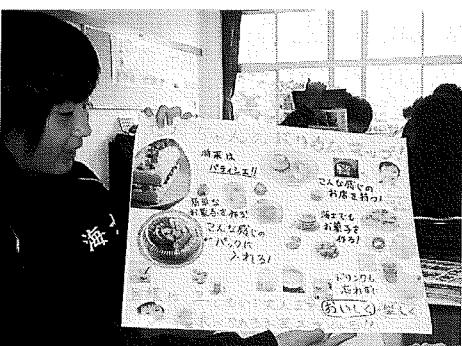
「大工になりたい」、「世界中で仕事をしたい」、「漁師になつて養殖がしたい」、「教員になつて剣道を教えたい」、夢は十人十色だ。

一通り夢を語り終えた時点で作成作業に移る。授業開始時は「夢ってなに?」、「夢なんて・・・」といった顔をしていた生徒たちが目を輝かせながら紙に自分の夢を描き出す。

夢は語ることでイメージできるようになる、夢が描けるようになると「今を頑張ろう」という気持ちが芽生えてくる。生徒たちの感想には、「自分にはこういう興味があったんだ!」、「自分は自分の夢をこんなに叶えたいんだということに気づけた」、「夢のためにはこういう興味があつたんだ!」、「自分は自分の夢をこんなに叶えたいんだという

ことで自分の夢や目標の再確認を行うことができた。輝く中高生たちを見て、人生を充実させるためにも、いくつにしても夢や目標を描き続けることの重要さに気づかされた。

(慶應義塾大学 田中 聰)

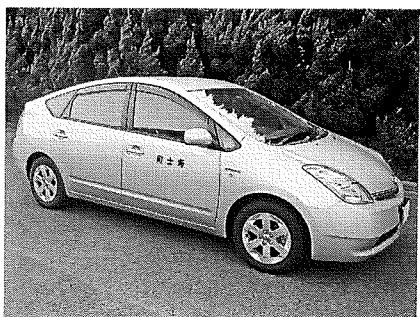


ドリカムマップの完成



ドリカムマップ完成だあ～。

町の公用車として、ハイブリッド車（トヨタプリウス）を導入しました。ハイブリット車とは、エンジンと電気の組み合わせで走る車のことで、燃費が良く排気ガスが少ないことなどから、クリーンエネルギー自動車として位置付けられています。海士町では、平成16年度に策定した「海士町新エネルギービジョン」にクリーンエネルギー自動車の導入を掲げており、今回の導入はその一環です。町では、環境に配慮できることから実践していこうということで、これから取り組んでまいります。皆さんのご理解とご協力を



**クリーンエネルギー
自動車導入！**

やート江~ 踊って笑って物語~ 感動を与えた3日間 海士の盆踊り



復活2年目の海士町盆踊り大会！ 700本のくじ付きまめしぶりもあつという間に完売でした。

古式豊かな伝統に触れ・・・そして地域との深いつながり

多くの『学』や『感動』を与えてくれた海士の3日間、この体験記は、海士に訪れた大学生が宇受賀地区、保々見地区で盆踊りに参加し、地域の皆さんとの関わりや、また、海士町盆踊り大会の協力スタッフとして、一生懸命取り組んだ様子をご紹介します。

盆踊り体験記

「海士に思うこと」

『海士町だから体験できた盆踊り』

8月13から15日の3日間、毎晩盆踊りを踊った。今まで盆踊り自体踊ったことがないのに、いきなりこんな経験ができるとは思つてもみなかつた。

13日の夜、宇受賀地区で初盆の盆踊りに参加させてもらつた。

この盆踊りは、初盆の家の庭先に集まり、盆踊りを踊る。亡くなつた方がいなければ、10人亡くなれば、10軒全ての家庭を回り踊るといふ。今では海士町内でこの宇受賀地区でしか行なわれない伝統行事だそうだ。

このような行事に、宇受賀の者でもなければ、海士の者でもない学生3人とIターンで海士に来て5年目になる豊政さん（保々見在住）が加わる方々。亡くなられた方のため、そのご家族のために地区のみんなが一丸となつて盛り

上がり、この伝統を受け継ぎ、そして子ども達に伝えていく。その姿に地域の人どうしの深いつながりを感じた。

緒になつて行い、屋台も自分達が中心になつて開いた。

自分は屋台に付きつきりだつたため、踊りには参加できなかつたが、中学生の協力もあり、屋台の商品は完売し、

盆踊り大会は成功だつた。

そのため、朝から櫓を建てるところから手伝いをさせていただ

いた。建て方などまったく知

らない自分、おそらく役に立

てないまま櫓が完成し、その

日の晩に盆踊りを踊り、15日

の早朝に櫓の片付け。ここで

も、あまり役立つていなかつ

たと思う。しかし、目まぐる

しく過ぎた1日の中で、自分

の顔や名前を覚えていただき、

直会（なおりい）の席では沢

山の話ををしていただけた。自

分が保々見という地区に一步

近づけた気がした瞬間だつた。

15日は隠岐神社で行なわれ

る海士町としての盆踊り大会

だ。この盆踊り大会は、一度

絶えてしまつたのだが、U I

ターン者と住民の方の力によ

つて昨年から復活したそうだ。

そのため、準備の段階から住

民の方々はもちろんのこと、

外から来た学生や社会人も一

この盆踊り大会の復活や盛り上がりのきっかけは、外から来たIターンの人たちが運

り上りのきっかけは、外から

きた、海士にはない力だ

ろう。この力と、海士だから

こそある地域のつながりや外

からの人を受け入れてくれる

力が合わさつてゐるからこそ、

この3日間は盛り上がり、そ

して多くの学びや感動を自分

に与えてくれたのだ。

ほかはない。海士町でし

か味わえない3日間が過ぎた。

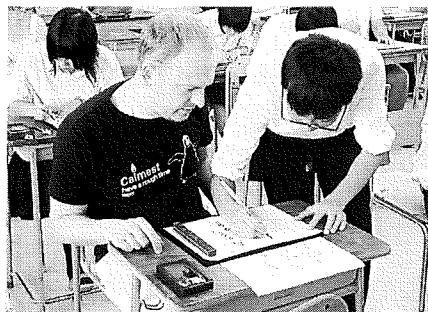
隠岐島前高校だより

～交流の夏・はじける夏～

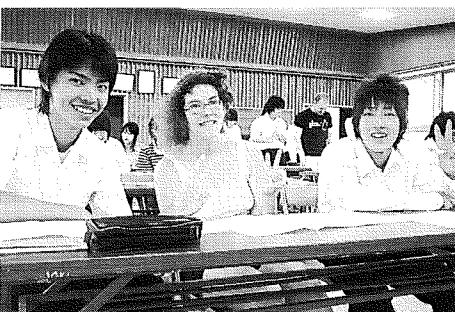
新宿日本語学校主催の「サマースクール in 海士」が今年も7月7日から10日間行われました。島前高校では7月8日（日）の午後に体育館でスポーツ交流を行い、13日（金）に芸術交流（書道と音楽の授業に参加）を行いました。昨年に引き続き、2回目の交流です。外国人学生の中には昨年も島前高校に来られた方がいらっしゃるようで、生徒との再会を喜んでおられました。スポーツや芸術は言葉が通じなくても、共に楽しみ、何かを感じることが出来るものです。生徒はこの体験を通して何かを学んだと確信します。



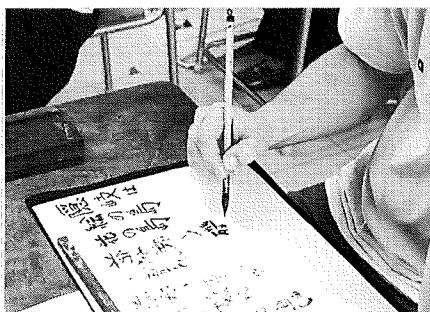
すっかりうち解けて日本語での会話に笑顔がいっぱい。



書道のお手本を優しく指導する生徒



今年はリピーターとなったサンドラさん（中央）
余裕のピース



隠岐は絵の島花の島と一筆に心込めて

7月29日(日)～8月2日(木)

全国高校文祭'07

107



キンニヤモニヤ踊り猛練習。一部アレンジして踊りを披露しました。



総合開会式に参加2年生全員集合！くにびきメッセにて

7月29日（日）、松江のくにびきメッセにて、文化系部活動のインターハイとも言える「全国高等学校総合文化祭」の総合開会式が行われました。本校からは2年生が島根の代表としてキンニヤモニヤ（一部分創作あり）を力強く踊ってくれました。2年生は体育の授業などを使ってかなり早い段階から踊りの練習をしていましたが、本番が近づくにつれ、気合いのこもった、かつ美しい踊りが出来るようになりました。本番では会場の高校生達がキンニヤモニヤの迫力に度肝を抜かれたようです。このような全国大会に参加できるのは一生に一回のことですから、生徒にとってはとてもよい経験となり、全国に向けて海士町をPRする最高の機会にもなりました。



起業家支援融資のご案内

新たに事業を始める方や事業を開始して間もない方のためのご融資を行っています。お気軽にご談下さい。

新規開業資金

○ご融資額 7,200万円以内
(運転資金4,800万円以内)

○ご返済期間
設備資金 15年以内
(うち据置期間 3年以内)
運転資金 5年以内
(うち据置期間6ヶ月以内)

○基準利率 年2.7%～
(平成19年6月13日現在)

「女性、若者（～29歳）シニア（55歳～）の方」の起業にかかる設備資金については、お使いみちにより、年2.1%の特別利率が適用になります。また、廃業歴のある方などが創業に再チャレンジするための融資制度も創設いたしました。

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

◆国民生活金融公庫松江支店
所 在
松江市殿町111
電話 (0852)-23-2651

働く未来を考える

平成19年10月1日現在で

就業構造基本調査
を実施します



全国から抽出された45万世帯の15歳以上の方々を対象に、ふだん何か収入になる仕事をしているかどうかや就業に関する希望などについて調査します。調査結果からは、若者、高齢者や女性の多様化する就業状況や産業構造の変化に伴う雇用流動化の実態など就業に関する詳しい状況が明らかになり、国や島根県（海士町）の雇用対策や経済政策などの各種行政施策を立案する際の基礎資料となります。

調査の対象となる世帯には、統計調査員が伺い調査票の記入をお願いしますので、よろしくご協力下さい。

総務省統計局
島根県・海士町

「島根はっぴいこーでいねーたー」の募集について

しまね縁結びボランティア協議会（事務局：島根県）では、結婚を望む独身男女が出会いきっかけづくりにボランティアで取り組んでいただける個人・団体を「島根はっぴいこーでいねーたー」として募集します。

■活動内容

- ・独身男女やその親からの相談に応じ、結婚を望む男女が出会いきっかけづくりを行う
- ・年数回開催予定の情報交換会に出席する

■応募要件

県内にお住まいまたは県内の企業にお勤めの方で、縁結び活動ができる方

※これまでの結婚相談の実績や、結婚を望む男女の情報の有無は問いません

※営利を目的とした活動はできません

※活動に要する費用の支給はありません

■募集期間

9月28日（金）まで

※「しまね縁結びボランティア協議会」（事務局：島根県）は、地域社会全体で結婚を望む独身男女を応援することを目的とした団体です。

*詳しくは、島根県少子化対策推進室のホームページをご覧いただくか、電話：0852-22-5302 か役場健康福祉課 08514-2-1823 までお問い合わせください。

道路交通法の一部改正について

～公布日（6月20日）から3ヶ月以内に施行される主な改正点～

①飲酒運転の罰則強化

○酒酔い運転

5年以下の懲役・100万円以下の罰金

○酒気帯び運転

3年以下の懲役・50万円以下の罰金

②飲酒検知拒否罪の罰則強化

3月以下の懲役・50万円以下の罰金

③車両等を提供する行為の禁止

飲酒運転するおそれのある者に対し、車両等を提供することを禁止し、車両等の提供を受けた者が飲酒運転をすると次の罰則が科せられます。

酒酔い運転 → 5年以下の懲役・100万円以下の罰金

酒気帯び運転 → 3年以下の懲役・50万円以下の罰金

④酒類を提供する行為の禁止

飲酒運転するおそれのある者に対し、酒類を提供することを禁止し、酒類の提供を受けた者が飲酒運転をすると次の罰則が科せられます。

酒酔い運転 → 3年以下の懲役・50万円以下の罰金

酒気帯び運転 → 2年以下の懲役・30万円以下の罰金

⑤同乗する行為の禁止

酒気をおびている者に自己を運送することを要求・依頼して、その者が飲酒運転している車両等に同乗する行為を禁止し、違反した場合、次の罰則が科せられます。

酒酔い運転 → 3年以下の懲役・50万円以下の罰金

酒気帯び運転 → 2年以下の懲役・30万円以下の罰金

⑥ひき逃げの罰則強化

自己の運転に起因して人の死傷を生じさせた運転者が、ひき逃げ違反をした場合の罰則が次のとおり強化されます。

10年以下の懲役・100万円以下の罰金

⑦免許証提示義務規定の見直し

警察官は、車両等の運転者が、道路交通法違反又は交通事故を起こした場合に、その運転者に引き続いき車両等を運転させることができるかどうかを確認するため必要があると認めるときは、運転免許の提示を求められた運転者は、免許証を提示しなければなりません。（罰則有り）

～公布日（6月20日）から1年内に施行される主な改正点～

①高齢運転者標識の表示義務づけ

75歳以上の高齢運転者は、普通自動車を運転する場合、高齢運転者標識の表示を義務付けられます。

(*従来どおり、高齢運転者標識を表示した自動車への「幅寄せ」「割り込み」を禁止し、違反すれば罰則が科せられます。)

②乗車ヘルメットの規定整備

児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならないこととなります。

③後部座席のシートベルト着用義務づけ

自動車の運転者は、助手席以外についても、座席ベルトを装着しない者を乗車させて自動車を運転してはならないこととなります。当面は、高速自動車国道等における違反についてのみ、行政処分の点数が付されます。

～公布日（6月20日）から2年内に施行される主な改正点～

①運転免許の欠格期間の延長

酒酔い運転等の悪質な違反により、運転免許を取り消された場合、従来は、5年以内の欠格期間であったものを、3年以上10年以内に延長されます。

②認知機能検査に関する規定の整備

75歳以上の者は運転免許証の更新を受けようとする場合には、運転免許証の更新期間が満了する日の6ヶ月以内に、認知機能の検査を受けなければならないこととなります。

③高齢者講習の受講期間の延長

高齢者講習の受講ができる期間が、運転免許証が満了する日の「3ヶ月前」から「6ヶ月前」に延長されます。

合格おめでとう！



6/1~7/31届出分

(太字は地区在住者)

全国珠算学校連盟珠算・暗算
合格者(7/22実施)
第247回珠算検定合格者

5級 滝川 七海(宇受賀)
6級 藤田 真帆(宇受賀)
7級 佐伯 京香(東)
8級 久保 鈴夏(北分)

第238回暗算検定合格者

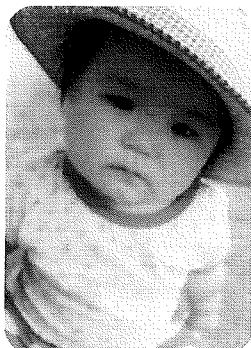
2級 高橋 芽生(宇受賀)
4級 山戸 莉緒(豊田)
5級 佐伯 良太(東)
6級 佐伯 京香(東)

出郷者の皆様へ

ご住所の変わられた方はご
一報下さい。また、お知り合
いの方で広報をご希望の方は
いつでも総務課広報係までご
連絡下さい。

TEL 08514②0115 (直通)
FAX 08514②02008

あくあく海士っこ



川井 めい 愛唯ちゃん 1歳
(H18.9.21生まれ)

亮一さん・早苗さんのお子さん
(福井在住)
はじめての夏 はじめての海 恐がらず入りました!! この今まで元気なおてんば娘に育ってね。

このコーナーでは、就学前までの赤ちゃんを紹介しています、写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしています。

問い合わせ先:総務課広報係

TEL 2-0115

河内 朝登くん 増本 朝登くん
唯ちゃん 中里 増本 朝登くん
平木 一花ちゃん 中里 大
岡本 日向ちゃん 保々見 智成
貴志

棚橋 哲也さん 横棚 晃子さん 向井 義則さん
原野 愛子さん 向井 義則さん 大野 ひとみさん
岡田 晃明さん 山本 理恵さん 康夫さん
絵美さん

金一封 渡辺 弘尚様(豊中市)
金一封 渡辺 寛様(出雲市)
金一封 渡辺 康夫様(下松市)
金一封 渡辺 康夫様(神奈川県)
金一封 小谷 哲子様(神奈川県)
金一封 黒坂千代子様(境港市)
金一封 中山 毅様(奈良県)
金一封 村木かずみ様(茨木市)
金一封 倉谷 寛様(隠岐の島町)
金一封 三田としえ様(寝屋川市)
金一封 佐々木克彦様(米子市)
金一封 八幡 篤様(四條畷市)
金一封 上田 豊様(北九州市)
金一封 藤田 正夫様(門真市)
金一封 石塚 高志様(岡崎市)
金一封 浜見紀美子様(西宮市)
金一封 青木 俊彦様(四條畷市)

すこやかに

佃 徳三郎さん 西
澤田 浩祐さん 御波
大嶋奈央子さん 中里

金一封 重子さん 東
金地 ツネさん 東
村上 重子さん 中里
梶本 德重さん 御波
島根 アサさん 御波
田中美奈子さん 丹後 武さん
杵築登志子さん 大橋 ヤスさん
丹後 武さん 多井 多井
杵築登志子さん 浅野 菖蒲さん
丹後 武さん 多井 多井
金増ハル子さん 崎 76歳
金増ハル子さん 崎 66歳
金増ハル子さん 崎 99歳
金増ハル子さん 崎 67歳
金増ハル子さん 崎 98歳
金増ハル子さん 崎 71歳
金増ハル子さん 崎 91歳
金増ハル子さん 崎 84歳
金増ハル子さん 崎 90歳

紙上からお礼

●香典返し
金一封 田中 美紀様(福井)
金一封 仁田 栄善様(崎)
金一封 正幸様(崎)
金一封 枝築 正幸様(崎)

●見舞返し
金一封 金増 静様(崎)
金一封 佃 重徳様(西)
(海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム誠訪苑より)

●広報郵送料
金一封 山下アサヨ様(豊田)
(海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム誠訪苑より)

秋の全国交通安全運動

*期間:9月21日~30日

交通安全思想の普及・浸透

を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、町民自身

による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

○運動の基本

高齢者の交通事故防止
底を図ることを目的としています。

○運動の推進事項

▼飲酒運転の根絶

▼夕暮れ時と夜間の歩行
中・自転車乗用中の交通事故
故防止

▼後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの
正しい着用の徹底

例年、9月から年末にかけて重大事故が多発する傾向にあります。安全運動を契機に、更に交通安全に対する意識を高め「事故ゼロの島前」にしましょう。